

②退職手当(令和6年4月1日現在)

区分	小金井市		東京都	
	自己都合	勲奨・定年	自己都合	勲奨・定年
勤続20年	23.0月分	23.0月分	23.0月分	23.0月分
勤続25年	30.5月分	30.5月分	30.5月分	30.5月分
勤続35年	43.0月分	43.0月分	43.0月分	43.0月分
最高限度額	43.0月分	43.0月分	43.0月分	43.0月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(2~20%加算)		定年前早期退職特例措置(2~20%加算)	
1人当たり平均支給額	7,919千円	0千円	2,253千円	23,428千円

※退職手当の1人当たり平均支給額は、令和5年度に退職した職員に支給された平均額です

③地域手当(令和6年4月1日現在)

支給実績(令和5年度決算)	1人当たり平均支給年額(令和5年度決算)	支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
328,778千円	560,099円	小金井市	15%	587人	15%

④時間外勤務手当

	支給実績	1人当たり平均支給年額
令和4年度決算	247,340千円	496千円
令和5年度決算	252,485千円	508千円

⑤その他の手当(令和6年4月1日現在)

手当名	内容および支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(令和5年度決算)	職員1人当たり平均支給年額(令和5年度決算)
扶養手当	【内容】扶養親族を有する職員に支給 【支給額】(1)子9,000円(子が満16歳年度初めから満22歳年度末までの場合は13,000円) (2)子以外の扶養親族6,000円(課長級は3,000円)	異なる	支給対象者、支給単価【国】(1)子10,000円(子が満16歳年度初めから満22歳年度末までの場合は15,000円) (2)子以外の扶養親族6,500円(行(一)8級相当以上は3,500円)	45,087千円	194,341円
給料の特別調整額(管理職手当)	管理または監督の地位にある一定範囲の職員に対して76,000~103,000円	異なる	支給対象者、支給割合【国】46,300~146,400円	58,814千円	948,613円
住居手当	【内容】自ら居住するための住居を借り受け、月額15,000円以上の家賃を払っている世帯主等に支給 当該年度末年齢35歳未満の職員にのみ支給し、管理職には支給されない 【支給額】15,000円	異なる	支給対象者、支給対象区分、支給単価【国】借家・借間 支給限度額28,000円	9,307千円	155,117円
通勤手当	交通機関利用者 運賃相当額 交通用具使用者 通勤距離に応じて支給	異なる	交通用具使用者の支給額【国】2,000~31,600円	44,418千円	89,014円

(4)特別職の報酬等の状況(令和6年4月1日現在)

①給料・報酬

区分	給料月額等
給料	市長 965,000円
	副市長 825,000円
	教育長 765,000円
報酬	議長 575,000円
	副議長 520,000円
	議員 490,000円

③退職手当

区分	算定方式	1期の手当額	支給時期
市長	給料月額×(在職年数×3.38)	13,046,800円	任期ごと
教育長	給料月額×(在職年数×2.42)	5,553,900円	

②期末手当

市長、副市長、教育長	議長、副議長、議員
3.95月分(令和5年度支給割合)	3.95月分(令和5年度支給割合)

4 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1)職員の勤務時間、休憩時間の概要

(本庁舎、第二庁舎勤務職員の一般的な例)

8:30	休憩時間	17:15
12:00 13:00		

(2)休暇制度の概要

休暇制度の種類は、年次有給休暇、公民権の行使、育児時間、出産支援休暇、育児参加休暇、子どもの看護休暇、生理休暇、産前および産後の休養、病欠休暇、夏季休暇、ボランティア休暇、骨髄液提供等休暇、結婚休暇、忌引、介護休暇、短期の介護休暇があります。

(3)休暇の取得状況

年次有給休暇平均取得日数	年次有給休暇取得率
16.5日	44.8%

※令和5年4月~6年3月の期間を対象としています

5 職員の休業の状況

育児休業取得者数	部分休業取得者数
24人	14人

※令和5年度に新たに取得した職員数です

6 職員の分限処分および懲戒処分の状況

(1)分限処分の状況(令和5年度)

分限処分とは、地方公務員法第28条の規定により、公務能率を維持することを目的として、職員がその職責を十分に果たすことができない一定の事由のある場合に、職員の意に反して行う処分です。

処分者数(延べ人数)			
降任	免職	休職	合計
0人	0人	60人	60人

※同一職員の再処分の場合も含まれます

(2)懲戒処分の状況(令和5年度)

懲戒処分とは、地方公務員法第29条の規定により、公務における規律と秩序を維持することを目的として、職員に法令等の違反、職務上の義務の違反、全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合などに行う処分です。

処分者数				
戒告	減給	停職	免職	合計
0人	0人	0人	0人	0人

7 職員のサービスの状況(令和5年度)

地方公務員法第30条では、サービスの根本基準として、「全て職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。」と規定しています。職員が守るべき義務は、次のとおりです。

区分	法令等および上司の職務上の命令に従う義務	信用失墜行為の禁止	秘密を守る義務	職務に専念する義務	政治的行為の制限	争議行為等の禁止	営利企業等の従事制限
違反者数	8人	0人	1人	0人	0人	0人	0人

8 職員の退職管理の状況

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律(平成26年法律第3号)により、地方公共団体においては職員の退職管理に関する事項を条例等で定め、適正な管理を行うこととされています。本市においては、職員の退職管理に関する条例および退職管理に関する規則を制定し、元職員による働きかけの規制等、適正な退職管理の取り組みを行っています。

9 職員研修の実施状況(令和5年度)

区分	研修内容等	受講者数(延べ人数)	
独自研修	職層別研修	新任職員研修、現任研修、主任職研修等	304人
	実務研修	文書実務研修、経理実務研修	89人
	その他	上級救命講習、メンタルヘルス研修、人権研修等	461人
派遣研修	東京都市町村職員研修所	職層別研修、法務研修、情報処理研修、実務研修等	294人
	その他	第3ブロック合同研修	10人

10 職員の福祉および利益保護の状況

(1)福利厚生事業について

①福利厚生事業の概要

区分	主な事業内容	
共済制度	東京都市町村職員共済組合 保険給付、年金、福祉事業等	
公務災害補償制度	地方公務員災害補償基金 公務災害、通勤災害等	
安全衛生管理	職員健康診断、職員健康相談	定期健康診断、産業医による健康相談等
	安全管理、職場衛生	職場巡視等
互助制度	小金井市職員互助会	カフェテリアプラン事業、各種福利厚生サービスの割引提供(外部委託)、慶弔金の給付等

②公務災害等の発生状況(令和5年度)

区分	発生件数
公務災害	8件
通勤災害	2件

③職員互助会の状況(令和5年度)

会費収入額	市交付金額	公費負担率
9,198,000円	6,438,600円	1:0.7

※金額は、交付決定時点のものです

(2)利益の保護の状況

①勤務条件に関する措置の要求の状況

職員は、給与、勤務時間その他の勤務条件に関し、公平委員会に対して、適当な措置が取られるべきことを要求をすることができます。令和5年度の措置要求件数、完結件数、継続件数、繰越件数はいずれも0件でした。

②不利益処分に関する不服申し立ての状況

職員は、懲戒その他その意に反する不利益な処分を受けた場合、公平委員会に対して不服申し立てをすることができます。令和5年度の申し立て件数、完結件数、継続件数、繰越件数はいずれも0件でした。

11 職員の競争試験および選考の状況

(1)採用試験実施状況(令和5年度)

区分	職種	応募者	受験者	合格者
上級職	一般事務	518	411	18
	土木技術	11	10	3
	建築技術	4	4	3
	保健師	8	6	2
中級職	一般事務(障がいのある方対象)	28	25	0
	保育士	26	24	11
	児童厚生員及び学童保育指導員	6	5	2
	栄養士	9	6	2

(2)昇任試験実施状況(令和5年度)

区分	受験申込者			申込率			合格者		
	男	女	合計	男	女	全体	男	女	合計
係長職・専任主査職	22	4	26	32.4%	8.3%	22.4%	8	3	11
主任職	31	24	55	58.5%	21.1%	32.9%	6	8	14
統括技能長職	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0
技能長職・専任技能主査職	1	0	1	12.5%	0.0%	8.3%	0	0	0
技能主任職	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0
合計	54	28	82	40.0%	16.4%	26.8%	14	11	25